

海を越えてひろがる交流の輪



Public Information

広報 vol.11

2002.4

KAKOGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
財団法人 加古川市国際交流協会

CONTENTS

2001年国際交流レビュー	2
JICAボランティア募集について	6
I LOVE KAKOGAWA	7
インフォメーション	8



第10回加古川市障害者海外派遣
〈ニュージーランド・ワイタケレ市のアラタキビジターセンターで記念撮影〉



第10回加古川市青年海外派遣 〈ブラジル・マリンガ市で開催されていた日伯文化祭で〉

4月 外国人のための日本語講座開講 (4/12～翌3/14)

毎週木曜日の夜、近郊在住の外国人約30名が、協会ボランティアの指導により日本語を学んでいます。クラスは初級2クラス、中級1クラスに分かれ、国籍も年齢もさまざまな生徒達が自分のレベルに応じたクラスで熱心に学んでいます。



＜スピーチパーティにて日頃の成果を発表＞

4月 ワイタケレ市学生訪問団来加 (4/20～5/5)

引率者2名と学生16名が今年も加古川市でホームステイしました。滞在中、防災センター見学や、レガッタ体験、神戸製鋼見学など多彩なプログラムを楽しみました。また、ユニバーサルスタジオジャパンでは数々のアトラクションにおおはしゃぎしていました。

家族同様に温かくもてなしていただいた、ホストファミリーのみなさまにお礼申し上げます。



＜さよならパーティで歌を披露する訪問団＞

5月 語学講座開講 (5/19～9/29)

昨年度から始まった語学講座。2回目の今年は、初級中国語会話、初級スペイン語会話、上級英会話の3講座が開講されました。新たな言語を学ぶ楽しさを教わった受講者のみなさんは、15回の講座が終了してからも自主グループとして引き続き活動されています。



＜フリーターキングでレベルアップをはかる生徒達＞

7月 ふれあいティータイム (7/11)

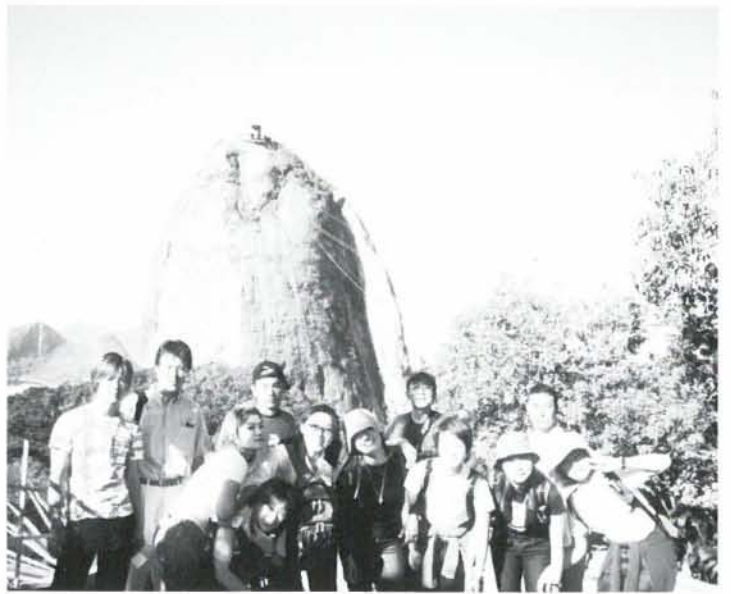
今回のゲストは、ブラジル出身の三輪・エジナ・いずみさん。日本とブラジルの生活・文化・教育の違いなどについて、兵庫県庁の国際交流員である三輪さんならではの視点で話していただきました。また熱心な参加者からの質問にもていねいに答えていただき、楽しいひとときを過ごしました。



＜ブラジルの楽器について説明するゲスト＞

8月 第10回加古川市青年海外派遣 (8/9～19)

毎年、市内の18～30歳の青年を姉妹都市のブラジル・マリンガ市へ派遣するこの事業に、今年は9名の団員に加えBAN-BANテレビの同行取材が加わりました。総勢12名の賑やかな一行は、地球の反対側にありながら、とても日本的で友好的な人々に温かく迎えられ、交流を深めました。ブラジルでは、マリンガ市でのホームステイに加え、リオデジャネイロやサンパウロ、イグアスの滝等を見学しました。その後派遣団員は、疲れを見せることなく次の訪問地アメリカ・オーランドへと向かいました。



<リオのボン・デ・アスーカルにて>

8月 第11回加古川市中学生海外派遣 (8/9～23)

市内の各中学校を代表して、12名の派遣生が今年もニュージーランドの姉妹都市ワイタケレ市を訪問しました。滞在中は、市内見学やロトルア一泊旅行、カヤック、乗馬など、ニュージーランドの自然を満喫できるさまざまな体験をしましたが、一番の思い出はやはり、本当の家族のように温かいホストファミリーと過ごした時間だったようです。日本では味わえない体験の連続で、全員、大きく成長して帰国しました。



<マオリのダンスショーにとび入り参加>

9月 インド古典音楽コンサート (9/29)

市民会館小ホールにて、インド・カルカッタ出身のビクラム・ハズラ氏を招いて、インド古典音楽の“バジャン”のコンサートを行いました。

観客はハズラ氏の歌声とギター、タブラと呼ばれるインドの太鼓の演奏に耳を傾けたり、また“バジャン”の語源が「共に分かち合う」ところから、一緒に歌ったり輪になって踊ったりと、思い思いのスタイルでコンサートを楽しみました。



<熱心に演奏するハズラ氏>

10月 ふれあい国際料理講座 (10/13~12/7)

在住外国人を講師に招き、お国自慢の家庭料理を学ぶこの講座も今年で10回目を迎えました。今回は中国・フィリピン・韓国・アイルランド・ブラジルの5回コース。

韓国料理では、焼き肉のタレの作り方とそれを使った鍋料理“タッカルビ”を学びました。意外と簡単に作れ、いろいろな料理に応用のきく“タレ”は大好評でした。みなさんもぜひご自宅で作ってみてください。



<調味料の説明をするロ・ミン・スンさん>

《焼き肉のタレ》

◆ 材料

濃口しょうゆ：500ml	酒：180ml	ごま油：30cc
淡口しょうゆ：500ml	酢：50cc	すりごま：適当
砂糖：800g	トウガラシ粉：お玉軽く一杯	こしょう
みそ：500g	ニンニク：1個	

◆ 作り方

- ① ニンニクは皮をむき、すりおろす。
- ② ごま油、すりごま以外の材料を全部鍋に入れ、とろ火にかけながら泡立て器で混ぜ合わせる。
- ③ 沸騰直前に火をとめ、ごま油、すりごまを入れる。
- ④ 好みでこしょう、山椒を振り入れる。*この分量で2~2.5リットルできます。

1月 日本語教育ボランティア養成講座 (1/12~2/23)

2年に1度開催している、外国人に日本語指導をするボランティアを養成するための講座も、今回で5回目となりました。グループごとに模擬授業を取り入れた実践的な授業に、受講者は真剣そのもの。日本語指導の難しさを改めて実感されていました。のべ28時間の講座を終了したみなさんには、協会ボランティアとして日本語講座やプライベートレッスンの講師としてご活躍いただいています。



<模擬授業に取りくむ受講生>

1月 マリンガ市青年派遣団加古川市訪問 (1/17~1/21)

植田真一マリンガ市姉妹都市協会会長と8名のマリンガ市青年が来日し、5日間加古川市に滞在しました。

派遣生は、かつて加古川市からマリンガ市に派遣された青年宅にホームステイし、ひとときの交流を深めました。滞在中は市内の施設見学をしたり、少年自然の家でホストファミリーと宿泊するなど、たくさんの思い出とともに帰国しました。



<国際交流センター前で記念撮影>

2月 第10回加古川市障害者海外派遣 (2/8~2/15)

今年は6名の派遣生と、医師など引率8名が、ニュージーランド・ワイタケレ市へ派遣されました。出発までに、簡単な英会話や宿泊研修などを経て、真夏の国でのびのびと乗馬セラピーや農場・博物館見学をしました。

親元を離れての外国での生活に、みんな最初は戸惑いながらも、現地の人々のおおらかでやさしい対応に、感激いっぱいの旅になりました。



<現地の文化にふれる参加者たち>

2月 マリンガ市訪問団来加 (2/12~2/15)

姉妹都市提携時の市長であった、故稲岡貞男加古川市名誉市民の市民葬に参列するため、急きょジョゼ・クラウジオマリンガ市長、ヴァウテル・ゲルレス市議会議長ら4名が来日しました。市民葬に参列後、加古川市民病院やクリーンセンターで運営状況などを熱心に質問をされていました。

歓迎夕食会では、ブラジルを訪問されたことのある出席者が思い出話を披露され、交流を深めました。



<鶴林寺で住職の説明に聞き入る訪問団>

国際交流図書・マルチメディアが充実しました

当協会2階事務所にて、インターネットに接続できるパソコン2台を設置しています。どなたでも利用することができます！

希望者はまず**利用カード**に必要事項記入していただき、一人1時間利用していただけます。



国際交流に関する図書がさらに増え、このたび約100冊の図書を揃えました。海外留学、TOEIC、英語検定などの資格取得関係、英会話、海外滞在体験記などの本を貸し出ししています。みなさま是非ご利用ください。

JICAボランティア募集について

国際協力事業団（JICA）では、開発途上国で活動するボランティアを募集しています。

① 青年海外協力隊

現地の人々と同じ言葉話し、同じ所に住み、同じ物を食べ、生活を共にしながらアジア・アフリカ・中近東・東欧・中南米・大洋州の国々の人づくり、国づくりに協力しています。

●募集資格：20～39歳までの日本国籍を持つ方（平成14年5月20日現在）

② シニア海外ボランティア

派遣先国の公的機関等に所属し、助言、調査等を通じて途上国の人材に技術移転を図ることにより、人づくり、ひいては国づくりに協力するものです。ボランティア精神はもとより、相手国の人々と密着して草の根レベルの協力姿勢が求められます。

●募集資格：40～69歳（派遣時）までの日本国籍を持つ方



③ 日系社会青年ボランティア

中南米地域における日系人社会を対象に、彼らがその国づくりのために大きな力となっていることを踏まえ、その一層の発展を支援するために、優秀な技術とボランティア精神に満ち溢れた日本の青年を派遣しています。

●募集資格：20～39歳までの日本国籍を持つ方（平成14年5月20日現在）

■問合せ先 説明会を実施しています。詳細のお問い合わせは下記へ

1) 国際協力事業団 兵庫国際センター 電話：078-261-0352

2) インターネットアドレス <http://www.jica.go.jp/>

<http://www.jica.go.jp/branch/hic/index.html>

3) 資料郵送希望の方は住所・名前・どの資料をご希望かを明記し390円切手を同封の上、下記へご請求ください。

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号

I LOVE KAKOGAWA

～在住外国人紹介のページ～

今回は加古川市に在住のアメリカ・ワシントンDC出身の女性にお話をうかがいます。

Q 自己紹介をお願いします。

A タラ・ロビンソンといいます。大学を卒業後、1年の予定で来日しました。市内にある語学学校で、2歳から18歳までの子供に、正午から夜8時半まで英会話を教えています。授業中、文法の質問をされると、自分にとっては母国語であるにもかかわらず答えにとまどうこともあります。楽しく過ごしています。

Q はじめに日本の印象をお聞かせください

A 自転車に乗っている人がとても多いと思います。アメリカでは車社会なので、移動はほとんど車です。

だから自転車に乗るのはエクササイズで、というのが普通です。

Q 日本語はどのようにして覚えましたか

A まだほとんど話せません。協会で紹介してもらったボランティアにプライベートで日本語を教えてもらっています。

Q どこか日本を旅行したことはありますか

A 昨年の秋に、日帰りと同僚のエミリーさんとバスで市内の高御位山に行きました。私達が小道を歩いていると、車の中からめずらしそうにじっとこちらをみている人がいておもしろかったです。年配の方がたくさん登っているのには感心しました。頂上に登るととてもさわやかですっきりしました。市内にある見土呂温泉にも行ったんですよ。母が10年前に日本に来たことがあり、そのとき温泉に入り、とてもいい経験をしたと聞いていたので、楽しみにしていました。

Q 日本で困ったことはありますか

A レストランにいったときメニューが読めないのが困ります。

また、人々とのコミュニケーションがたいへんです。

Q 食生活で何か違いはありますか？

A 食べ物は母国とほぼ同じ食材がそろっていますが、ベジタリアンなので、野菜の値段がアメリカより高いのがつらいところです。普段はとうふやシーフード、うどんをよく食べています。お好み焼きもお気に入りです。



＜姫路の書写山にて同僚のエミリーさん（左）と＞

Q 昨年9月に起きた痛ましいテロについて

A テロの起きた昨年の9月11日、ちょうど私は国防総省（ペンタゴン）近くのショッピングモールに行くため、ハイウェイを運転中でした。国防総省が攻撃されたあと、煙がもうもうとたちこめていたのが遠くからも一目でわかりました。たくさんの人が車を止めて写真をとっていました。事件を知った後、すぐ自宅へ引き返しました。あの当時は、たとえ家族や友人が犠牲になっても、アメリカ国民は皆あのテロのことを自分のことのように受け止め、悲しんでいたと思います。テロ後、1ヵ月しかたたずに来日しましたが、空港も万全の体制をとってくれていたので不安はありませんでした。

Q 帰国後の予定は

A 日本に来る前、大学で女性学と芸術史を学んでいたため、帰国後はまた大学院に行き勉強するか、それとも働くかまだ決めていません。
どうもありがとうございました

(談) 加古川市に住む外国人登録者数は平成14年3月現在で約2300人。身近にいる彼らがうまく日本での生活にとけこめるよう、さりげなくお手伝いできるといいですね。

INFORMATION

新メンバー募集

国際交流センターでは、下記の語学の自主グループが活動をしており、メンバーを募集しています。詳細は、代表者にお問い合わせください。

	講座名	レベル	活動日	代表者連絡先
1	ハングル勉強会	初中級	火 19時半 ~21時	藤尾 光芳： 090-8658-7143
2	ハングル講座	初心者～上級	日 9時半 ~12時	山本 祐作： 0794-28-1055
3	楽しく学ぶ中国語	中 級	木 10時 ~12時	阿部 英雄： 0794-38-7017
4	中国語自主グループ	初中級	木 13時 ~17時	まずは協会へ 0794-25-1166
5	中国語	初 級	金 19時半～21時	まずは協会へ 0794-25-1166
6	時事英語勉強会	中上級	金 9時 ~12時	野崎 一恵： 0794-54-2458
7	英会話自主グループ	中 級	土 10時 ~12時	木村 正敏： 0794-54-3440
8	スペイン語自主グループ	初心者	土 10時 ~12時	小田ますみ： 0794-24-8246

テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカード、古切手、外貨コインを回収しています。

ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジアの復興に役立てられます。協会まで持参、もしくは郵送してください。みなさんのご協力をお願いします。

国際交流センター利用案内

- 開館時間…午前9時から午後9時まで
(ただし、日曜日は午後5時まで)
- 休館日…毎週月曜日。ただし国民の休日に関する法律に規定する休日が月曜日にあたるときは、その翌日

編集後記

国際交流センターがオープンしてはや2年。おかげさまで、施設の利用者も徐々に増えてきました。

国際交流に関する書籍(留学、英検、語学など)もさらに充実させています。みなさまのご利用をお待ちしています。

2002年4月発行

(財)加古川市国際交流協会

〒675-0017 加古川市野口町良野387-1

TEL 0794-25-1166

FAX 0794-25-0200

E-mail kia@city.kakogawa.hyogo.jp

ボランティア募集

協会の事業をお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。

- ① 語学ボランティア
各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳
- ② 各種サービスボランティア
日本文化の紹介、外国人への日本語指導など
- ③ ホームステイボランティア
外国人のホームステイ受け入れ

賛助会員募集

協会では、毎年国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員の募集をしております。

会費は事業費の一部として活用させていただきます。

●年会費

個人 1口 2,000円

団体 1口 5,000円

法人 1口 10,000円

●申込書

協会事務所、市役所案内などにあります。

詳しくは協会まで。

*会員には、指定旅行社の優待割引制度・事業参加費の割引などの特典があります。